

# 8・古利根ウォーク

江戸時代、江戸との輸送路として重要な役割を担っていた古利根川。現在は、市のほぼ中心をゆったりと流れ、人々の心に潤いを与えています。新たに整備された遊歩道、四季折々の自然と歴史に触れながら歩いてみませんか。



**1 「ぶらっとかすかべ」**  
 季節に合わせた展示を行っています。  
 9:00～16:30 月曜（月曜が祝日の場合はその翌日）、年末年始 休

**3 たくさんの神様が祀られている 東八幡神社**  
 昔から「下の八幡様」の愛称で親しまれています。境内には、大杉神社、弁財天、雷電神社、浅間神社などの小社があります。本殿に施された彫刻は見事です。



**4 エンゼル・ドーム前広場**  
 8月になると鮮やかなヒマワリが咲き、行き交う人を迎えます。エンゼル・ドーム内ではしんちゃんやかすかべ防衛隊のモニュメントに会えます。

**2 古利根公園橋**  
 古利根公園橋は旧春日部市制施行30周年にあたる昭和59年（1984）、全国初の橋上公園として建設されました。テラスからの眺めはガイドマップの表紙になっています。



冬場は市の鳥、ユリカモメに出会えます。

春は、満開の桜並木が見事です。

牛島入道橋

**5 水辺の生き物たちが集う 川久保公園**  
 公園内のビオトープや河原には、春になるとアシが茂り、夏にかけてヨシキリなどが子育てをします。冬場には、川に干潟もでき、さまざまな渡り鳥や水鳥の楽園になります。



**6 1本1本の橋にも歴史があります 藤塚橋**  
 藤塚橋は、昭和8年（1933）坂巻治平氏ら10名が資金800円で架けた木橋です。架設費を回収するため、昭和29年（1954）まで通行料を取っていたことから貸取り橋と呼ばれていました。緑町方面から橋を渡り、約6m先の左手にある石碑に、歴史が記されています。

ゆりのき橋  
 桜の木の下のベンチでひとやすみ。 休 休

電車が走る風景が絵になります。

**7 200年以上前の方石が発見された 藤塚香取神社**  
 天正6年（1578）の創建と伝えられる神社です。境内にある元禄8年（1695）に奉納された鳥居や、元禄9年（1696）に奉納された手水石は歴史の重みを感じさせます。また、安永5年（1776）に奉納された方石が平成9年に土中に埋もれていたのを発見され、再び神前に奉納されました。



**●方石とは**  
 神社に行くとき、丸い大きな石が置いてあることがよくあります。これらは方石という物で、神前に奉納されて、力試し、力くらべなどに使われました。神社にお立ち寄りの際、探してみると面白いかもしれません。

**8 全国的にも珍しい 備後の丸彫庚申塔**  
 備後香取神社のすぐ脇に、珍しい形の青面金剛（しやうめんこんごう）を彫った庚申塔があります。他の庚申塔とは違い、立体的に彫られていることから丸彫型庚申塔と呼ばれています。この像は享保13年（1728）に備後村の人によって世の安楽を願って建てられたことが碑文から読み取れます。



**●庚申信仰とは**  
 庚申の日になると、普段は人の腹の中にいる三尸（さんし）の虫が、人々が眠っている間に天に昇り、天帝にその人の罪悪を告げ、命が縮められてしまう...という説が信じられていました。そのため人々は、庚申の日には三尸が腹から出ていかなないように、集って眠らずに夜を明かしました。庚申塔は、庚申供養などのために室町時代ごろから盛んに建てられました。



距離と所要時間：一ノ割駅まで（約6.1km／約1時間31分）消費カロリーの目安：男性310kcal 女性256kcal